

一般会計等財務書類4表を公表します

平成27年度決算までは、複数ある作成方式の中で、「総務省方式改定モデル」によって財務書類を作成していましたが、平成28年度決算から、すべての地方公共団体に適用される総務省の「統一的な基準」に基づき、笠松町一般会計等財務書類4表を作成しましたので公表します。

一般会計等財務書類4表とは、町の普通会計の資産や負債、行政コスト、資金収支の状況を明らかにするものです。

貸借対照表(バランスシート)

平成29年3月31日現在 (単位:千円)

決算期末の財政状態を明らかにするためのものです。

左記の資産の部は、これまでに取得した財産の総額を記載し、右側には資産を形成する際に要した財源の調達状況を表わしています。

資産の部		負債の部	
1. 有形固定資産 (公共資産)	8,694,785	1. 固定負債 (将来の負担)	6,802,225
2. 投資など	1,024,670	2. 流動負債 (来年度の負担)	594,979
基金(特目)など	855,099	負債合計	7,397,204
出資金・その他	169,571		
3. 流動資産	1,354,084	純資産の部	
預金	487,189	純資産合計	3,676,335
基金など	662,133	(これまでの世代の負担)	
未収金・その他	204,762		
資産合計	11,073,539	負債・純資産合計	11,073,539

行政コスト計算書

経常的な費用と収入

[自平成28年4月1日]
[至平成29年3月31日] (単位:千円)

行政サービスに費やされた費用(コスト)と、その行政サービスに対する直接の対価(使用料など)を表わしたものです。

経常行政コスト合計から経常収益合計を差引いたものが純経常行政コストとなります。

経常費用		
1. 人にかかるコスト	人件費など	900,319
2. 物にかかるコスト	物件費、減価償却費、維持補修費など	1,716,112
3. その他のコスト	支払利息など	210,931
4. 移転支出的なコスト	社会保障給付、補助金など	3,378,943
	合計	6,206,305
経常収益		
	使用料・手数料、事業収益など	128,028
	純経常行政コスト	6,078,277
	臨時損失など	1,201
	臨時利益など	0
	純行政コスト	6,079,478

純資産変動計算書

純資産の増減

[自平成28年4月1日]
[至平成29年3月31日] (単位:千円)

資産と負債の差額である純資産の1年間の変動内容を表わしたものです。

期首純資産残高		
	純行政コスト	△6,079,478
	税収等	4,623,408
	国県等補助金	1,606,334
	その他	△922
	資産評価差額による変動など	
	期末純資産残高	3,676,335

資金収支計算書

現金の動き

[自平成28年4月1日]
[至平成29年3月31日] (単位:千円)

1年間の資金の動きを明らかにする計算書です。

業務活動収支、投資活動収支、財務活動収支に分けて表わしています。

期首資金残高		
1. 業務活動収支	(収入)町税など(支出)人件費・社会保障給付など	△143,747
2. 投資活動収支	(収入)国県補助金など(支出)公共施設整備費など	△337,932
3. 財務活動収支	(収入)地方債発行収入など(支出)地方債償還費など	297,178
	当期収支	△184,501
	本年度末歳計外現金残高	54,103
	本年度末現金預金残高	487,189

※財務書類4表(一般会計等・全体会計)の詳細は、町ホームページと役場1階の行政情報コーナーで公表しています。